

# 半導体国際会議 GAMS/JSTC開催報告

(2017年10月30日(月)～11月3日(金):韓国・釜山)

半導体分野では、毎年3回国際会議を開催しています。2月にJSTC<sup>\*1</sup>会合、5月にWSC<sup>\*2</sup>会合とJSTC会合、10月にGAMS<sup>\*3</sup>会合とJSTC会合が開催され、日本、米国、欧州、韓国、チャイニーズ台北、中国の代表が集まり、議論します。JSTC会合とWSC会合は民間の集まりで、業界共通の課題について議論をし、政府への要望をまとめます。GAMS会合は政府の集まりで、業界の要望を検討して、結果を業界にフィードバックします。このような仕組みで、民間と政府とが協力して課題解決を図っています。

11月2日韓国・釜山のWestin ChosunホテルにてGAMS会議が開催され、冒頭に当年5月に京都にて開催されたWSCの概要報告が行われました。ルネサスエレクトロニクス株式会社 代表取締役会長の鶴丸 哲哉氏がWSC議長として報告しました。以下、トピックスについて紹介します。



報告する鶴丸WSC議長

## 地域支援プログラムの進展

半導体産業に対する政府の支援は透明で、開かれていて、保護主義や差別的または通商に悪影響を及ぼすものであってはなりません。WSCからの提案により、GAMS会議に先立って、10月31日に官民の専門家を集め、地域支援プログラムについてワークショップを開催しました。この議論を受けて、11月2日GAMS会議では、地域支援ガイドラインとベストプラクティスについて全極が合意しました。これにより、地域支援プログラムの透明性向上、適正化に向けた大きな進展が得られました。

## 半導体のHS新定義構築に向けて

半導体製品は技術進歩が早く、新しい機能や用途が追加され、外観や使い方が多様化してきます。一方、貿易で使われる関税分類(HSコード)は、世界共通ですが、改正作業は5年ごとであり、特に高度な技術を使う半導体製品では、各国税関が分類の解釈で悩む場合もあり、国によって解釈に差が生じることもあります。WSCでは、このような状況を解決するため、半導体の新しい関税分類の定義について議論を開始しました。

## 暗号規制の透明性と非差別性の確保

IoTなどさまざまな機器がインターネットにつながるようになり、便利になる反面、暗号などのセキュリティ対策が必須となっています。WSCは、各国暗号制度に対して、商用暗号製品の透明性と非差別性を強調する、WSC暗号原則を提唱しています。GAMSは、本原則を支持し、更に議論を深めることになりました。



## 知的財産権の保護

WSCは、特許訴訟の乱用に関するベストプラクティスをまとめてGAMSに提言しました。また世界知的所有権機構(WIPO)とも特許の質を改善するため協力の提案をしています。

## 半導体製品の反模倣品活動

半導体製品は社会インフラにも広く使われているため、模倣品が誤って流通すると、社会生活における健康や安全をおびやかす恐れがあります。

WSC/GAMSでは、半導体模倣



品使用の危険性を注意喚起するためポスターを作製し各国の展示会やセミナーを通じた啓発活動を行っています。

## その他の活動

WSCは、半導体の地球温暖化対策や省エネ、化学物質管理などを通して、環境の改善にも取り組んでいます。また、半導体市場や応用分野についても報告を行っています。今回、トピックスとして、人工知能(AI)やロボット市場を取り上げました。

今後も引き続き、半導体のさまざまな課題に取り組んでいきます。

- ※1 JSTC(Joint Steering Committee):各工業会の会員企業の委員による実務レベル会合。
- ※2 WSC(World Semiconductor Council):半導体企業のトップによる会合。
- ※3 GAMS(Government/Authorities Meeting on Semiconductors):半導体を担当する政府当局による会合。

### [WSC、GAMS、JSTCの参加者と開催時期]

